事業概況（アニマルヘルス）



得意領域の強みを活かし、動物たちの“すこやか”に貢献しながら持続的な成長を実現する

あすかアニマルヘルス株式会社
代表取締役社長
山口 文豊

グループ会社
https://www.aska-pharma-hd.co.jp/company/company.html

あすかアニマルヘルスは「動物の健康と食の安全を守ることにより、人と動物が共生できる社会づくりに貢献します。」を経営理念とし、「畜水産領域の繁殖・免疫と栄養に強みを持ち、コンパニオンアニマル（CA）の健康を支える唯一無二の企業になる」という経営ビジョンを掲げて事業を展開しています。近年は気候変動や世界的な人口増加に加え、国際情勢不安など、世界的な課題に直面しています。日本においては、畜水産業の飼養戸数は減少している一方で、1戸当たりの頭数は増加傾向にあります。また、抗菌薬による治療ではなく、感染症対策としての予防への注目が高まっております。CAに関しては、獣医学の進歩やフードの高品質化、サプリメントの充実により長寿化が進み、高齢化に伴う各種疾患が顕在化してきております。ペットを家族と考える意識の浸透により、1頭当たりの関連支出も年々増加をしております。このような環境のなか、当社は2025年度を最終年度とする5年間の前中期経営計画において、新製品の発売と既存品の確実な伸長によって、過去最高の業績を達成することができました。新製品については、新規飼料添加物の上市によって、国内における新たなマーケットを創出し、全社の売上拡大に大きく寄与しました。また、CA向けの動物用医薬品においては、内分泌領域の製品として、犬のクッシング症候群治療剤であるトリロスタン錠「あすか」の製造販売承認取得と販売を開始し、獣医療現場における当社のプレゼンス向上につながりました。2025年12月には犬の甲状腺機能低下症治療剤であるレボチロ散0.1%「あすか」の製造販売承認を取得し、2026年10月に販売を開始します。既存品に関しては、家畜の繁殖用ホルモン剤の基盤製品の安定供給と、主力品であるプリッドデルタのプロモーション活動に注力し、家畜農家の生産性向上へ貢献しました。これら各領域における新製品投入と市場浸透を図りながら、従来から取り扱っている基盤製品の売上拡大と安定供給を通じて、アニマルヘルス事業として売上高70億円強を達成し、国内アニマルヘルス市場におけるプレゼンスを大きく向上させただけでなく、あすかグループにおける売上高シェア10%超を維持しています。これもひとえに、事業拡大に向けて尽力した従業員とお取引先をはじめとする関係者の皆さまのご支援の賜物と考えております。

今年度からは、長期ビジョンである「ASKA VISION 2035」の実現に向け、新たに中期経営計画2028がスタートしました。あすか製薬ホールディングスグループが目指す姿をしっかりと捉えながら、アニマルヘルス事業のさらなる成長と、中期経営計画2028の達成を目指してまいります。主な取り組みとして、まずは収益力強化に向けて「畜産の繁殖」や「CAの内分泌」などの優位性がある事業の展開を推進してまいります。またCA内分泌領域の動物用医薬品や飼料添加物などの既存製品の売上拡大、そして他社アライアンスの推進や、新規サプリメントなどの自社開発に取り組んでまいります。またグローバルへの挑戦として、動物用医薬品やサプリメントなどの製品について、アジアを中心とした海外展開を推進し、国内事業以外の新たな収益基盤の構築を図ってまいります。当社は引き続き、得意領域における強みを伸ばし、オリジナリティのある製品の開発と販売を通じて、動物たちの「すこやか」に貢献し、中期経営計画2028の達成と、長期ビジョンである「ASKA VISION 2035」の達成に向けて邁進します。

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ

強み

主要な繁殖用ホルモン剤のラインナップによる畜産分野における高い市場プレゼンス

CA分野における潜在的なニーズを意識した製品の提供

飼料用アミノ酸のフルラインナップによる配合飼料の低たんぱく化への貢献

事業概況

市場環境

- 為替相場の影響や、世界的な物流費・資材費などの高騰による畜水産物の生産コスト上昇
- 実質可処分所得の伸び悩みや生体価格・飼育コストの上昇によるCA世帯飼育率の減少
- 世界的な情勢不安によるサプライチェーンの不安定化および製品のコモディティ化

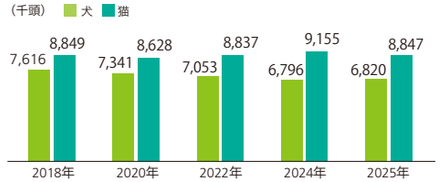
リスク

- 畜産農家、水産養殖業者の戸数減少および資材費高騰に伴う医薬品需要への影響
- 持続的なCA総飼育頭数の横ばい傾向
- 競争激化と安定供給への対応

機会

- 生産農場における繁殖効率改善による畜産物の生産効率向上
- CAの長寿化による診療機会の増加および疾病顕在化と、飼育関連支出増に対するオーナーの価格受容性の高まり
- 世界的な低たんぱく飼料に対する需要拡大

犬および猫の飼育頭数の推移

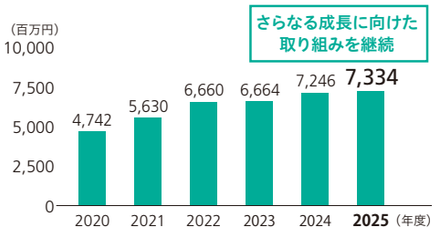


※出所：（一社）ペットフード協会「令和6年（2024年）全国犬猫飼育実態調査」

中期経営計画2025の成果と課題

前中期経営計画の成果として、L-メチオニンやL-イソロイシンなどの新規飼料添加物の上市や、CA向けの新製品の発売などだけでなく、基盤製品についても着実な成長を図ることができた結果、当社の得意領域におけるプレゼンス向上と業績拡大に成功しました。また課題としては、コロナ禍や不安定な世界情勢によるエネルギーコストの上昇、原材料価格や物流費の上昇、為替変動によるコスト増加などによる原価高騰が挙げられます。またサプライチェーンマネジメントのさらなる強化も課題として挙げられます。中期経営計画2028では全部門で安定供給と利益を追求し、協業を含めた新製品投入と海外展開の推進に重点的に取り組んでまいります。

あすかアニマルヘルス 売上高の推移



※金額は百万円未満を切り捨てて記載しています

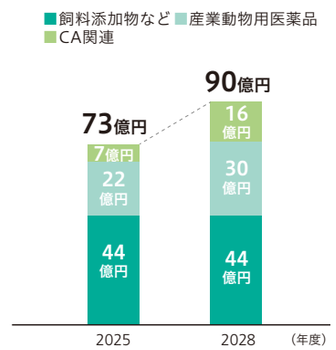
テーマ	成果	課題
業績	過去最高を更新	原価率の低減
安定供給	パートナー企業との関係構築	サプライチェーン体制
人的資本	次世代人材の育成と獲得	リテンションの強化

中期経営計画2028における戦略

アニマルヘルス事業では既存製品を中核に、産業動物用医薬品、飼料添加物、CA用医薬品の領域で成長を推進します。まず産業動物用医薬品、飼料添加物では、AI[*1]市場に加えて、成長が続くET[*2]市場において、当社のテクニカルアドバイザーと連携し、プリッドデルタをはじめとする繁殖用医薬品の販売を強化いたします。

CA用医薬品では、犬用の動物用医薬品であるトリロスタン錠「あすか」[*3]、レボチロ散0.1%「あすか」[*4]に加え、猫用の動物用医薬品であるチロブロック錠[*5]を中心に販売を推進します。内分泌領域での製品ラインナップをこれからも拡充してまいります。外部企業との協業を通じて、CA向けのサプリメントやケア製品の開発を進め、機能性や付加価値を有する競争優位性の高い製品の販売を強化してまいります。さらに、成長が続くアジア市場を中心に、各国ニーズに対応した製品展開および販路構築を進めます。動物用医薬品および、サプリメントなども視野に入れながら、早期の売上確保につなげてまいります。

2028年度　売上高目標



産業動物用医薬品・飼料添加物	**多様化するニーズへの対応** ・AI市場に加え成長が続くET市場において、当社のテクニカルアドバイザーと連携し「プリッドデルタ」をはじめとする繁殖用医薬品の販売を強化する。 ・売上拡大を目的としたセミナーなどを開催、さらなる市場シェア拡大を目指す。
CA用医薬品	**内分泌領域での製品ラインナップ拡充** ・犬用の医薬品であるトリロスタン錠「あすか」、レボチロ散0.1%「あすか」に加え、ネコ用の医薬品であるチロブロック錠を中心に販売を推進する。
協業の推進	**新製品および海外事業の推進** ・外部企業との協業を通じ、CA向けのサプリメントやケア製品などの開発を推進するとともに、機能性や付加価値を有する競争優位性の高い製品の販売強化を図る。 ・成長が続くアジア市場を中心に、現地ニーズに対応した製品展開および販路構築を進め、海外事業の拡大を推進する。

＊1 AI（ArtificialInsemination）：人工授精　＊2 ET（EmbryoTransfer）：胚移植　＊3 犬用の副腎皮質機能亢進症治療剤（2022年11月発売）
＊4 犬用の甲状腺機能低下症治療剤（2026年10月発売）　＊5 猫用の甲状腺機能亢進症治療剤（2026年7月自社販売へ移行）

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ